

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

(だい 15 期 だい 1 年 だい 1 回 だい 2 日)
(第 15 期 第 1 年 第 1 回 第 2 日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2024 (令和 6) 年 5 月 19 日 (日) 午後 2 時 00 分 ~ 5 時 00 分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 26 人

アディダヤ ヨザ、イトウ ユリカ キヤレン、ウイ スー ケット、鎌田
ファチマ、ギーゼツケ フロリアン、金 寿瑛、単 望舒、鄭 載勳、
スリニヴァサン スチエタ、スン チン グアン、セネ アイサトウ チンボ、
ダオ テイ ハーイ ハン、張 遙、朴 慧珍、ヒラノ ジョイミ、
ヒリストバ ガブリエラ、ブー ホン アン、プストフスキーフ アナスタシア、
古谷 史子、ポカレル ナラヤン、ポソ ミゲル アンヘル、ポラニスギ
ピョートル、楊 子宜、ラハマシ ジアウル、李 詞、ルイス ジェームス

(2) 事務局

菅原 課長、三田村 課長補佐、津金 担当係長、緒方 職員、堤 職員、
高橋 専門調査員

4 傍聴者 3 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

セネ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2024年度第1回第2日を開催する。まずは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

セネ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

セネ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。今日は議事が多くある。スケジュールどおりに進むように進行に努めたいと思うので、協力をお願いします。まずは、臨時会についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

セネ委員長「今日、決めることは臨時会の開催方法についてだ。案ではオープン会議として開催するとなっている。何か質問や意見はあるか。(なし)では、オープン会議として開催することに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)それでは、臨時会はオープン会議として開催することが決定した。次は、実行委員会についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

セネ委員長「何か質問や意見はあるか。」

ブストフスキー委員「実行委員会を行う時間帯についてだが、代表者会議を開催する日とは別の日に活動する場合がある、と書いてあるが平日か。それともみなさんで決めて休日や祝日になったりするか。」

事務局高橋専門調査員「みなさんで決めていただければと思う。必ずやらなければいけないということではない。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、順番に決めていく。まずは、実行委員会をつくることに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)次に、どのような実行委員会をつくるかを決める。案では、臨時会実行委員会、交流イベント実行委員会、ニューズレター編集委員会の3つとなっている。ほかに意見がなければ、この3つで決めたいと思う。」

ルイス委員「以前にこの3つ以外で何かあったか。」

事務局高橋専門調査員「名前の変更はあるが、基本的にはこの3つでやってきた。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、この3つで賛成の人は手を

挙げてください。（ 全員賛成 ）最後に、誰がどの実行委員会に入るかを決めたい。アデイダヤさんから順番に希望をお願いする。（ 順番に希望を確認 → 人数調整 ）続いて、市の審議会等委員についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

セネ委員長「何か質問はあるか。」

単委員「もし委員になったら、基本的には欠席してはいけないのか。急用が入ってしまい、どうしても参加できないという場合は欠席でも大丈夫か。」

事務局高橋専門調査員「欠席が仕方ない場合もあると思う。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（ なし ）それでは、決めていきたい。川崎市「二十歳（はたち）を祝うつどい」企画実施委員会（ ギーゼツケ委員 ）、かわさき市民祭り実行委員会（ イトウ委員 ）、青少年問題協議会（ 鄭委員 ）、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会（ ルイス委員 ）。

次は、視察についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明）

セネ委員長「何か質問はあるか」

朴委員「現地集合か。」

事務局高橋専門調査員「川崎駅に集合して、みなさんで移動と考えている。」

アデイダヤ委員「ふれあい館以外にフィールドワークをするとしたら、いつの時点で決めるのか。」

事務局高橋専門調査員「フィールドワークはしなければいけないものではないが、部会で審議していく中で、必要だということになればそのタイミングで決める。タイミングはとくに決まっていない。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（ なし ）それでは、視察先として、ふれあい館に賛成の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ）視察先はふれあい館に決まった。日程については、事務局から連絡があると思うので、アンケートに回答するようお願いする。事務局は日程が決まったらみなさんへ連絡をお願いする。次は、市制100周年についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明）

セネ委員長「この議事はとくに決めることはないが、何か質問はあるか。」

イトウ委員「同窓会の時間帯が11時から13時となっているが、何か軽食みたいなものはでるのか。」

事務局三田村課長補佐「参加費を500円ほど徴収して、軽食を用意しようと考えている。」

ヒリストバ委員「何かつくったものや買ってきたものを持ち寄るのがあるか。」

事務局三田村課長補佐「検討させて欲しい。」

ブストフスキー委員「家族連れでもよいか。」

事務局三田村課長補佐「家族での参加も可能だ。」

金委員「結婚はしていないのだが、パートナーでもよいか。」

事務局三田村課長補佐「大丈夫だ。」

ウイ委員「子どもの年齢制限はあるか。」

事務局三田村課長補佐「年齢制限はない。小学生までは無料で、中学生からは参加費をもらおうと考えている。」

セネ委員長「せっかくの機会なので、参加できる方はぜひ参加をお願いする。次は、グループディスカッションだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料7に基づき説明)

セネ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ委員「ホワイトボードみたいなものはあるか。」

事務局高橋専門調査員「ホワイトボードの用意はないが、紙は用意してある。それだけがメモを書くのに使ってもよいし、シエアしてもらってもよい。」

ブストフスキー委員「意見、アイデア、関心というのは、これから部会審議に入るためのものか。それとも、まずは自由な意見、関心か。どうやって進めればよいか。」

事務局高橋専門調査員「人によってまだレベル感が違うと思うので、自由なものでもよいし、部会で審議したいテーマでもよい。ただし、今日はまだ審議テーマを絞るということはしないで欲しい。」

アディダヤ委員「話し合ったことは次の会議に持ち越すのか。」

事務局高橋専門調査員「今日、話し合ったことは最後にシエアをする。今日、話し合ったことと次回予定している勉強会をふまえて、審議テーマを考えてもらえればと思う。」

ボソ委員「課題をいくつか挙げるというイメージでよいか。」

事務局高橋専門調査員「人によって違うかと思う。もう具体的に話し合いたいことや課題がはっきりしている人もいれば、まだ漠然とこのテーマについて話し合ってみたいというくらいの人もあると思う。どちらでもよい。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、5分間の休憩をはさんでグループディスカッションに入りたい。」

（休憩）

（グループディスカッション）

（休憩）

セネ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、グループディスカッションの報告だ。Aグループから順番に、1グループ4分程度で報告をお願いする。」

ヒリストバ委員「Aグループでは、幅広くいろいろな意見が出たが、主に日常生活に関する問題が多く出た。そうした問題に対して、たとえばChatGPTのような生成AIを使って解決につなげることができるのではないかという意見があった。ほかに、学校での子どものいじめや年金、外国人労働者に関する問題、人種差別、ライフステージと在留資格に関する事、川崎市のホームページの外国人向けの情報、日本に長く住んでいる人と経験をシェアするための交流の場などの話が出た。」

イトウ委員「Bグループでは、大きくわけて情報とコミュニケーションという2つのトピックに関する話が出た。情報では、子育て、介護、年金など、情報にたどり着くまでのステップに関する話が多かった。コミュニケーションに関しては、外国人だけでなく、外国人と日本人がともに参加できるような防災訓練やイベントなどができるとよいという話が出た。」

ボソ委員「Cグループでは、外国人の立場から、何に困っているのか、何を改善して欲しいのかなどを議論した。大きなテーマとしては、情報の多言語化ということがあった。具体的な課題としては、住宅、受験や奨学金、校則などの教育、避難所や災害時の情報の多言語化の推進などの防災、医療・病院、労働相談などの話が出た。」

楊委員「Dグループでは、幅広くいくつかのテーマについて話し合った。全部で5つだ。1番目は、防災・避難でもっともみなさんの関心が高かった。外国人市民の避難訓練への参加やボランティアのネットワークづくりが重要ではないかという意見が出た。2番目は、高齢者の支援について、外国人高齢者が交流できる機会があるとよいといった意見が出た。3番目は、情報へのアクセスだ。効果的に情報を発信するための手段として、SNSの活用などの意見が出た。4番目は、医療支援だ。川崎市ではMICかながわという医療通訳派遣の仕組みがあるが、利用できる病院が限られている。最後に、5番目として外国人は

生活保護の受給も制限されているので、子ども食堂やフードバンクなどのセーフティネットの情報を周知することが重要ではないかという話が出た。」

ポストフスキープ委員「Eグループでは、基本的にはほかのグループと重なるトピックスが多かったが、一番関心が高かったのは保育や教育だった。情報の〈やさしい日本語〉化やライフステージごとに何をすればよいか分かるようなフローチャートがあるとよいといった意見が出た。もう1つ、情報に関することもいくつか意見が出た。すでにある情報をどうやって活用するか、先ほどと同じく情報の〈やさしい日本語〉化、一度に大量の情報をもらっても読み切れないので情報のタイミングや優先順位に関する意見も出た。」

セネ委員長「グループディスカッションは以上となる。次は審議スケジュールについてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料8に基づき説明)

セネ委員長「何か質問や意見はあるか。(なし)それでは、次回は案のとおり審議テーマと提言について勉強するということによいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、次回は審議テーマと提言について勉強するということに決定した。今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・同窓会について
- ・視察について
- ・市議会文教委員会の傍聴について

セネ委員長「以上で、今日の日程は終了だ。次回は、6月16日、日曜日、ここ国際交流センターで開催する。これで、2024年度第1回第2日の会議を終わりにする。」